

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 60代	多発性骨髄腫 (高血圧、肝 炎ウイルスキ ャリアー、末梢 性ニューロパ チー)	1.1mg 67日間	B型肝炎，肝障害	
				投与約7年前	HBs抗原：陰性
				投与約3年前	初回輸血実施。
				投与約1年2ヶ月 前	HBs抗原，HBe抗原：陰性 HBc抗体：陽性 輸血（4回目）実施。この時点でHBV感染は成立してい た。
				投与81日前	HBs抗原，HBe抗原：陰性 HBc抗体：陽性
				投与3日前	肝障害：なし。人赤血球濃厚液（2単位）輸血。
				投与1日前	本剤投与のため，入院。
				投与開始日	第1サイクル本剤投与開始。
				投与11日後	第1サイクルの本剤投与終了。
				投与12日後	退院。
				投与17日後 (発現日)	発熱および尿失禁を認め，救急搬送。AST 959 IU/L， ALT 685 IU/L， γ GTP 590 IU/L，総ビリルビン 2.27 mg/dLと肝障害を認めたため，入院。
				発現1日後	肝障害に対し，グリチルリチン酸-アンモニウム・グリ シン・L-システイン配合注射剤にて加療（3日間）。
				発現2日後	HBs抗原，HBe抗原およびHBV-DNA陽性を認めたため， denovo B型肝炎と診断。
				発現14日後	AST 22 IU/L，ALT 19 IU/L， γ GTP 156 IU/L，総ビリ ルビン 0.86 mg/dLと肝障害は軽快したが，貧血が進行。
				発現15日後	人赤血球濃厚液（2単位）輸血。肺炎を合併したため， セフェピム塩酸塩水和物投与開始（8日間）。
				発現22日後	AST 25 IU/L，ALT 17 IU/L， γ GTP 86 IU/L，総ビリ ルビン 0.42 mg/dL
				発現26日後	退院。
				発現39日後	B型肝炎に対し，エンテカビル水和物（0.5mg/日）経口 投与開始。
				発現42日後	AST 26 IU/L，ALT 20 IU/L， γ GTP 70 IU/L，総ビリ ルビン 0.53 mg/dL
				発現46日後	第2サイクル本剤投与開始。 HBe抗原およびHBV-DNA陽性であり，B型肝炎は，こ の時点で未回復。
発現50日後 (投与中止日)	第2サイクル本剤2回目投与。				
中止3日後	貧血が進行し，人赤血球濃厚液（2単位）輸血。				
中止6日後	背部痛，発熱を認めたため，救急受診。疼痛コントロー ルのため，入院。				
中止7日後	背部痛増強。呼吸状態および意識レベル悪化。心肺蘇生 を施行し，人工呼吸器を装着したが，改善認めず。疾患 進行により，永眠。 【剖検所見】 第6胸椎圧迫骨折，回盲部から下行結腸にかけての粘膜 下出血，気管支肺炎，心肥大。				

臨床検査値

	投与 81日前	投与 1日前	投与 5日後	投与 17日後 (発現日)	発現 2日後	発現 14日後	発現 22日後	発現 42日後	発現 46日後
AST (IU/L)	—	14	15	959	147	22	25	26	—
ALT (IU/L)	—	13	17	685	—	19	17	20	—
LDH (IU/L)	—	200	160	1,319	227	252	196	257	—
ALP (IU/L)	—	192	174	1,600	1,218	465	274	249	—
γ-GTP (IU/L)	—	30	32	590	419	156	86	70	—
総ビリルビン (mg/dL)	—	0.43	0.25	2.27	3.47	0.86	0.42	0.53	—
HBs 抗原	陰性	—	—	—	陽性	—	—	—	—
HBc 抗体	陽性	—	—	—	陽性	—	—	—	—
HBe 抗原	陰性	—	—	—	陽性	—	—	—	陽性
IgM-HBc 抗体	—	—	—	—	陰性	—	—	—	—
HBV-DNA 定量 値	—	—	—	—	5.8	—	—	—	6.9
HBV-DNA	—	—	—	—	陽性	—	—	—	陽性

併用薬：デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム、アムロジピンベシル酸塩、アレンドロン酸ナトリウム水和物、ファモチジン、ベタメタゾン・d-クロルフェニラミンマレイン酸塩配合剤、人赤血球濃厚液、セフェピム塩酸塩水和物